

一級河川 多々良川
河川改修事業

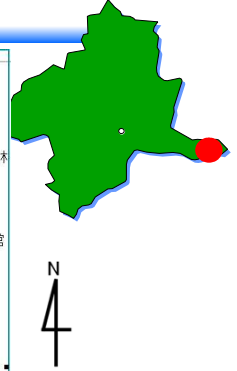
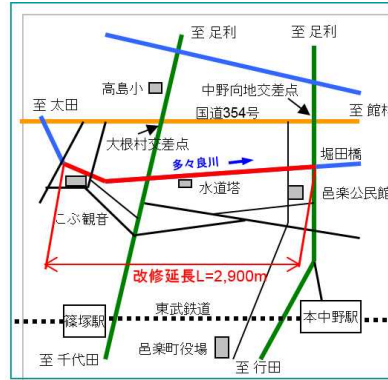
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地： 邑楽町大字中野～石打
- 河川名： 一級河川 多々良川
- 事業内容： 河道拡幅、築堤 延長 2,900m
- 全体事業費： 30億円
- 事業期間： 平成13年度～令和8年度（26年間）
- 計画規模： 概ね20年に1回程度発生すると予想される洪水による氾濫を防止することを目標
- 現況流下能力： 約7.0m³/s
- 計画流下能力： 20.0m³/s

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・水害リスクを軽減するため

川幅を拡げ、堤防をつくり、
流せる水の量を増やします

地元の声

- ・台風時は、田畑が浸水し稲作被害が発生している。堤防を造ってほしい。（地域住民）
- ・河川沿いの土砂が大雨のたびに流される。早く改修してほしい。（地域住民）

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積の減少	52.4ha
想定氾濫区域内の浸水戸数の減少	104戸

実施後（目標）
0ha
0戸

実施前

- ◆川幅が狭く、大雨の際に周辺の水田への浸水被害が発生していました。

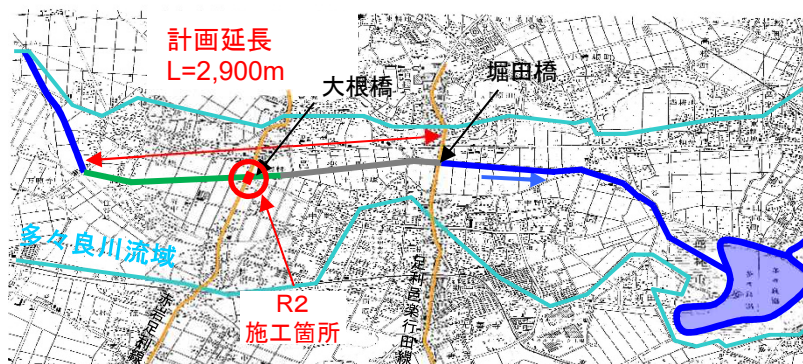


実施後

- ◆川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業の進捗状況（R3年3月現在）



今、何をしているか

令和2年度は赤岩足利線「大根橋」の架替工事を実施しました。
令和3年度は、大根橋上流の護岸整備を進めていきます



事業のすずみ具合

事業開始 ● ● 事業完了